

ステージ・レッド A への移行と活動再開の方針について

総合文化研究科・教養学部の皆さま

去る 5 月 25 日、東京都及び首都圏 3 県の緊急事態宣言の解除が発表されました。これを受け、6 月 1 日に、本研究科・学部におけるステージをレッド A に移行します。あわせて、活動再開の方針について以下のとおり定めましたので、お知らせします。

なお、キャンパスでの活動再開において、引き続き「3密」を避けるなどの感染防止対策を行って下さい。

1 教養学部前期課程学生の方へ

S セメスター中の授業は、原則として引き続き全てオンラインで行います。（帰省中の学生も多く、感染リスクも残っているため、全学的に S セメスター中は対面授業を原則として実施しない方針となっています。）

ただし、今後も感染収束の傾向が続けば、6 月中旬以降にステージ・オレンジ（全学の活動制限指針におけるレベル 1 に相当します）になることが見込まれます。その場合には、学生がキャンパス内でオンライン授業を受講することを可とします。（原則的には、自宅でのオンライン受講が困難な学生に限定します。）

また、さらに感染収束状態が安定的に推移することが確認できれば、ステージ・グリーンに移行します。目安として、8 月初旬までにステージ・グリーンに移行できた場合には、A セメスターは対面授業、または対面とオンラインを組み合わせた授業を実施することを予定しています。

課外活動については、ステージ・イエローに緩和された場合でも原則として禁止となります。ただし、真にやむを得ぬ理由でキャンパス内施設を利用する場合には事前に申請して許可を得てください。

2 教養学部後期課程学生の方へ

S セメスター中の授業は、原則として引き続き全てオンラインで行います。（理由は同上です。）

ただし、今後も感染収束の傾向が続けば、6 月中旬以降にステージ・オレンジ（全学の活動制限レベル 1 に相当）になることが見込まれます。その場合には、学生がキャンパス内でオンライン授業を受講することを可とします。加えて、少人数のゼミや卒業研究などはキャ

ンパス内での実施を可とします。その際の入構時間は平常時の3割以下とします。

また、さらに感染収束状態が安定的に推移することが確認できれば、ステージ・グリーンに移行します。目安として、8月初旬までにステージ・グリーンに移行できた場合には、Aセメスターは対面授業、または対面とオンラインを組み合わせた授業を実施する予定です。

3 大学院総合文化研究科学生の方へ

[授業について]

Sセメスター中の授業は、原則として引き続き全てオンラインで行います。

ただし、今後も感染収束の傾向が続けば、6月中旬以降にステージ・オレンジ（全学の活動制限レベル1に相当）になることが見込まれます。その場合には、学生がキャンパス内でオンライン授業を受講することを可とします。加えて、少人数のゼミや研究などはキャンパス内での実施を可とします。その際の入構時間は平常時の3割以下とします。

また、さらに感染収束状態が安定的に推移することが確認できれば、ステージ・グリーンに移行します。目安として、8月初旬までにステージ・グリーンに移行できた場合には、Aセメスターは対面授業、または対面とオンラインを組み合わせた授業を実施する予定です。

[研究について]

ステージ・オレンジでは研究活動が可能ですが、入構時間は平常時の3割以下を目安としてください。ステージ・オレンジ下で経過を観察し、2週間を経過した段階で問題が発生していなければ、ステージ・イエロー（全学の活動制限レベル0.5に相当）に移行する見込みです。その場合には、入構時間を平常時の5割以下としつつ、研究活動を活発化することができます。さらに感染収束状態が安定的に推移することが確認できた場合は、ステージ・グリーンに移行し、通常の活動度を回復します。

4 教員・研究員の方へ

[授業について]

Sセメスター中の授業は、原則として引き続き全てオンラインで行っていただきます。

ただし、今後も感染収束の傾向が続けば、6月中旬以降にステージ・オレンジ（全学の活動制限レベル1に相当）になることが見込まれます。その場合には、教員がキャンパス内でオンライン授業を発信することを可とします。加えて、少人数のゼミや研究などはキャンパス内での実施を可とします。その際の入構時間は平常時の3割以下とします。

また、さらに感染収束状態が安定的に推移することが確認できれば、ステージ・グリーン

に移行します。目安として、8月初旬までにステージ・グリーンに移行できた場合には、Aセメスターは対面授業、または対面とオンラインを組み合わせた授業を実施する予定です。

[研究について]

ステージ・オレンジでは研究活動が可能ですが、入構時間は平常時の3割以下を目安としてください。ステージ・オレンジ下で経過を観察し、2週間を経過した段階で問題が発生していなければ、ステージ・イエロー（全学の活動制限レベル0.5に相当）に移行する見込みです。その場合には、入構時間を平常時の5割以下としつつ、研究活動を活発化していただきます。さらに感染収束状態が安定的に推移することが確認できた場合は、ステージ・グリーンに移行し、通常の活動度を回復します。

[会議について]

各種の会議は積極的にオンライン会議を利用していただきます。どうしても対面会議が必要な場合は、ステージ・オレンジ（全学の活動制限レベル1）下では10人以下の会議を、ステージ・イエロー（全学レベル0.5）下では30人以下の会議を可とします。ただし、教授会、総務委員会等、参加者の多い会議はオンライン開催とします。

ステージ・グリーンに移行した後も、可能な限りオンライン会議を活用して、業務の効率化を目指していただきます。

5 事務職員の方へ

ステージ・レッドA（全学の活動制限レベル2）では、一部の業務は中断、休止し、出勤者数の率について4割程度を上限として、必要最小限の人数で交代勤務、その他の職員は在宅勤務として運用します。ステージ・オレンジ（全学の活動制限レベル1）では、出勤者数の率について6割程度を上限として、一部の業務について、業務遅滞、事後処理を認め、時差通勤を奨励するとともに、業務の性質上、可能なものは、交代等により在宅で行います。ステージ・イエロー（全学の活動制限レベル0.5に相当）では、出勤者数の率について7割程度を上限として、時差通勤や在宅勤務を活用して行います。

以上、取り急ぎご連絡申し上げます。

2020年5月29日

総合文化研究科長・教養学部長

太田邦史